

2023年度校長会要求書提出

瀬教労は、7月21日、瀬戸市校長会に対し2023年度の要請書を提出しました。

1. 教職員の多忙化解消に向けて、当面、県教委や文科省が発表した「教員の多忙化解消プラン」の具体化に向け、関係機関への働きかけを含めて取り組むこと。年度当初の勤務日程で明示された包括的職務命令に関して、業務は勤務時間内で行えるよう監督すること。

2. 校長が命じた時間外勤務については、その割り振りをうけるのは校長の責務であり、すべての教職員が割り振りをきちんと取れるようにすること。また、日常でも割り振りを取りやすくするために、個人別の割り振

り変更簿を設置し、その活用に向け、以下の内容に留意すること。

(1)「割り振り変更簿を設置したこと」と「割り振り変更簿の使い方」を全職員に分かりやすく説明すること。

3. 学級学年事務や現職教育などの時間がきちんと確保され、勤務時間内に仕事が終わられるような体制づくりに向け、特に以下の内容に関して改善を進めること。

(1) 打ち合わせや会議を減らし、余剰時数(標準時数を上回った時数累計)の活用で午後の授業を一部カットして、必要な時間を生み出すための具体的な対応策を講ずること。

(2) 時間外勤務削減のため、行事や諸会議の精選・業務

の合理化及び全般的な見直しを強めるようにすること。出張を減らし教育活動に支障が起らないようにすること。

(3) 解錠・施錠は管理職が行うとともに職員の勤務状況を現認すること。

(4) 短縮日課の実施などにより成績処理の時間確保をおこなうこと。

(5) ノー残業デーは全職員が一斉に実施できるようにすること。

(6) 職員の勤務時間にあわせ、全ての学校で児童・生徒の登校時間を6:30~8:30とする。また、児童生徒の昼放課を20分以上とし、

4. 昼の休憩が取れなかったときは、7時間45分の勤務で終了を16時15分とする。また、児童生徒の登校時間を6:30~8:30とする。また、児童生徒の昼放課を20分以上とし、

職員の休憩が必ず15分取れるようにすること。

5. 暴言や侮辱といったパワーハラスメントは、教職員の身分の侵害及び人権侵害につながる重大問題であり、絶対に行わない、行わせないこと。「パワーハラス防止指針」(2020.3.31一部改正)を全員に配付すること。

6. 本人の同意なく教職員に部活動の顧問をさせないこと。部活動顧問の時間外勤務が、上限「月45時間・年360時間」を超えないよう、在校時間の記録に基づき長時間活動を中止したり、顧問業務を外すなどの措置を講ずること。

7. ICTについて、国や自治体(愛知県・瀬戸市)に働きかけること。

(1) 教職員の負担軽減と専門職員を配置すること。

8. 感染症対策について市教委に働きかけること。

(1) 教職員の感染を防止するために必要な条件整備を行うとともに、必要な財政措置を行うこと。

(2) 職員室等での「3つの密」を防ぐ手立てを確立するために、各学校の実状を把握し必要な財政措置を行うこと。

患を持っている教職員の感染防護対策をとること。

(3) すべての学校で衛生委員会が感染防止対策を具体化するとともに、研修を行うこと。

(4) 教職員が学校において感染した場合、公務災害となることを周知すること。

9. 学校の施設・設備、教育・労働条件整備、教職員等の配置について関係機関に働きかけること。

(1) 男女別の横臥できる休養室・シャワー室を全ての学校に設置するよう市に働きかけること。

(2) 全学年で35人学級を早期に実現できるように県に強く働きかけること。

(3) 日本語学級設置校へのサポート体制を強化すること。また、日本語学級が設置されていない学校でも必要児童・生徒や保護者がいる場合のサポート体制作りを進めること。

(4) 児童生徒の教材を充実すること。

(5) 保護者対応が行える支援体制を充実すること。

(6) 養護教諭が泊る行事に参加の場合の人員を確保すること。

※裏面へ

新執行委員長挨拶 3

若手同士の自由な研修の機会を!

小林 友子

今から10数年前、初任者であった私にとっての支えは、やはり同期との集まりでした。

反省会と称しての飲み会や、課題提出後の打ち上げ、同期メンバーの失恋慰めの会などなど、色々な節目に集まって話を花を咲かせては同期で絆を深めていました。

教員生活を送る中、心細いとき、学級経営や授業について相談したいとき、上司に指導を受けたときや保護者対応でうまくいかなかったときに同期で励まし合った日々は今でもかけがえのない思い出です。

しかし、ここ数年のコロナ渦では、研修で顔を合わせる機会ですら制限され、飲み会や食事会どころではありませんでした。昨今、若手教員が心の病をかかえ早期離職が問題提起されましたが、コロナ渦で仲間と顔を合わせて悩みや苦しさを共有しあえる機会がなかったことが原因だといっても過言ではありません。

先日、初任の先生と宿泊研修についてお話をすることがありました。

以前は2泊3日だった宿泊研修ですが、コロナ明け数年ぶりに1泊2日と期間を短くした宿泊研修が行われたそうです。

初任の先生の感想は、やはり同期メンバーで泊る研修はいつもと違った経験ができ、とても楽しくてリフレッシュできたそうです。

コロナを機に多くのことが見直されるようになったのですが、決して研修の機会を削減されるべきではなく、若手同士が話し合ったり勉強し合ったりする自由な研修を自由に選択・受講できると切実に思いました。



すべての子どもたちにゆきとどいた教育をすすめ、心のかよう学校をつくるための請願署名

2023年度
県提出用

2023 教育署名お願いします

- ゆきとどいた教育の充実のため、教育予算を大幅に増やし、以下のとおりをすすめてください。
 - (1)小学校・中学校・高等学校の30人以下学級を早期に実現し、全ての学校の正規職員を増やしてください。また、障害児学級・学校の学級定員を県独自で引き下げてください。
 - (2)教育費の保護者負担を軽減して、就修学を保障してください。
 - ①小中学校での教育活動に不可欠な給食費、教材費など学校納付金を無償にしてください。
 - ②「高校無償化」の復活を国に働きかけるとともに、県独自に「高校無償化」の制度を設けてください。また、教育費の無償化の前進のため、当面年収500万円以下の家庭の子どもについて、教育活動に不可欠な教材費、生徒会費などの学校納付金を無償にしてください。
 - ③定時制・通信制高校の奨学制度を充実させてください。
 - ④県独自で公立高等学校等奨学給付金を拡充するなど、奨学金制度を抜本的に改善してください。
 - ⑤「高校生修学支援基金」の復活を国にもとめるとともに、愛知県高等学校等奨学金の返還猶予・減免制度を拡充してください。
 - (3)年度当初の欠員補充や休業代替の講師が見つからない教員未配置問題を解消してください。
 - (4)豊かな環境のもとで学べるよう、教育条件や施設の改善をすすめてください。
 - ①保護者・住民合意のない学校の統廃合及び小中一貫校や中高一貫校の導入を押しつせず、小規模校をなくさないでください。
 - ②定時制課程の統廃合を行わず、教育条件を充実させてください。また、定時制・通信制課程を希望する生徒がすべて入学できるようにしてください。
 - ③障害児学校を早急にかつ計画的に新設して過大・過密化を解消するとともに、実態に合った重複認定を行うなど、一層の教育条件整備・拡充をすすめてください。また、小中学校の通級指導教室を増設するとともに、障害児学級には男女複数担任を配置するなど、障害児教育を充実させてください。
 - ④外国籍の子どもに対して、日本語指導や学習支援等が十分に行えるような条件整備をすすめて、就修学を保障してください。
 - ⑤子どもの安全を守り、食育活動を充実させるため、学校給食の民間委託をやめ、自校で給食を提供できるよう、施設設備の拡充と人員配置をすすめてください。
 - (5)熱中症による重大事故をなくすためにも早急に県の責任において、全ての学校の全教室・全施設にエアコンを設置し、その運用にかかる十分な予算を確保してください。
2. 東日本大震災等をふまえて、学校の安全基準を抜本的に見直し、県の責任で全ての学校の建物の耐震化や「二次部材」の耐震補強を早急に実現してください。また、危険校舎・老朽校舎の改築・改修などのための学校施設整備を早期にすすめてください。
 3. 希望するすべての子どもたちが高校進学できるように、計画進学率を引き上げ、保護者や教職員の要望をふまえて、高校入試制度を抜本的に見直ししてください。

取扱団体

 あいち公立高校父母連絡会 名古屋市立高等学校教員組合
 愛知県高等学校教職員組合 愛知県教職員労働組合協議会

愛知の教育条件は全国最低水準！ (文部科学省「学校基本調査」「地方教育費調査」より)

校種	児童・生徒1人あたりの教育費 (2020調査)			
	愛知県の順位	1人あたりの金額	全国1位	1人あたりの金額
小学校	44位	¥509,641	秋田県	¥1,496,116
中学校	46位	¥990,392	高知県	¥1,811,342
高校(全日制)	45位	¥1,098,865	高知県	¥1,856,838
障害児学校	34位	¥6,902,156	高知県	¥12,492,779

【愛知の高等学校等進学率 (通信制を除く)】
 2022年 愛知県: 91.3% (全国最下位)
 全国平均: 94.3%

愛知県の高等学校等進学率(通信制を除く)は、1997年度以降25年連続で全国最低です。

また、中学卒業後、就職も進学もできない卒業生が愛知は601名と全国でも東京に次いで2番目に多い数となっています。学びたくても学べない生徒がこんなにも多く存在することは大きな問題です。

障害児学校[学級]の過大・過密は大問題！

- 図書室も音楽室も更衣室も、すべて教室に転用
- 雨の日は、廊下でも体育の授業
- 小・中学校の障害児学級は、学年をまたいで最大8人の子どもが1つのクラスに...

障害児学校 過大・過密 ワースト10

都道府県	指数	在籍数	学校数
大阪府	155.3	9,764	50
東京都	150.0	13,488	71
福岡県	174.8	6,641	38
愛知県	174.2	7,317	42
茨城県	174.1	4,363	26
埼玉県	160.9	8,369	52
広島県	155.4	2,797	18
鹿児島県	152.6	2,505	17
神奈川県	150.1	7,966	53
千葉県	149.5	6,577	46

*学校数は国公立、私立の合計です。
 この指数は障害者を考慮していません。

愛知は、特別支援学校の過大・過密が全国的にもトップクラスの状況です。近年、徐々に改善されていますが、愛知県内には、在籍者数300人超のマンモス校がまだ5校(2022年度)もあり、特別支援学校の整備は急務となっています。策定された設置基準が実効あるものとなり、充実した教育が受けられるよう、施設・設備や教職員の配置の改善を実現しましょう。

国と県の署名があります。瀬教労のHPから署名用紙をダウンロードして下さい。



取扱団体(代表) 〒460-0007愛知県名古屋市中区新栄1丁目49番10号 愛知県教育会館内 愛知県高等学校教職員組合

り活担元断
ま性いの熱
す化、工事
。地務事
も域店は
なのが地

任国教育
です。各環境
自治整備
体の備は、
責

生シ断では屋感不済温で室マ一授
活ヨ熱断、根染なむか可1ン天は東
もッ化熱脱に症りよく能0ド井力京
もクも化炭太のますにりす万換井大
進が素陽のまなり、。く0換井大
み進も光延、なり、小そ1行学
め可パ延、電、型う5の院
冬能ネを防ぎ電、アれ万の前
場、で家す。つまコば円真
の、のす。まアコば円真
日庭。つまアコば円真
々で学け。つまアコば円真
のの校れ。安でも度教

せめて最上階の教室を
オールシーズン快適に
1教室100万円150万円

け温根行普夏
度かわ通も年
をられ教暑々
す上のま室い温
ぐげ日しの夏
にて射たエア
は、熱が、コ
冷エア天最
えア井上
まコ井の
せんをの
。か面屋は

全国の全ての
教室の断熱を

「全国のすべての教室の断熱を」のインターネット署名が注目を集めています。

【瀬戸地下軍所工場跡を保存する会総会】

● 8月6日(日) 13:30～

水野地域交流センター

I 総会

33年の活動をうけ、①調査、記録する活動、②広報活動、③見学会、他団体との交流、④跡地の保存・整備のなどの活動方針が確認されました。



梅野代表

II 講演会

講師：園角成生 氏

演題：「大切な人との縁を結んだ戦争遺跡たち」



園角さん



縁の木

様々な人との出会い、労働学校での深い学び、「戦争軌跡研究会」を立上げ、「見た、聞いた、調べた」を何年もかけ「立体化」してきたということです。

各地をまわり、戦災「縁の木」の保存運動がマスコミにも大きくとりあげられました。



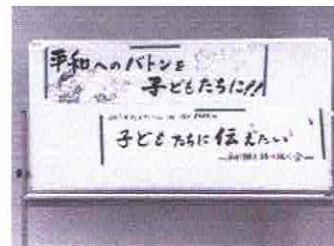
【戦争体験を語り継ぐ会】

● 7月22日(土) 14:00～ 文化センター

講師：寺脇正治氏・中村儀明氏・小出裕氏



寺脇さん



寺脇・中村・小出の3氏から「瀬戸市顕霊誌にみる戦没者1175名の記録」と題してお話を聞きました。膨大な資料をグラフ化し見やすい資料でした。残された資料をどう教材化し、後世に伝えていくか考える機会となりました。

● 8月12日(土) 13:30～

講師：山田秀子さん



8月12日(土) 13:30～16:00
パルティセとで行われました。「瀬戸から沖縄に行ってから今年10年目に入る。辺野古は防衛局が林を伐採してから緑がなくなってきた。今年の8月で工事が終わる予定。台風6号で工事でできた護岸が壊れた。1日2千万円以上の工事費で税金が湯水のように使われている。1人のときもあるが、日本が戦争に巻き込まれないようにと頑張っている。救護班としても活動し、機動隊の人とも話してきた。警察官も沖縄県民。日本は民主主義といいながら、人を踏み続けている。沖縄には歌・太鼓があるのでたたかい続けられてきた。」

【あいち 平和のための戦争展 2023】

● 8月10日(木)～13日(日)

「あいち平和のための戦争展」が8月10日～13日、名古屋市民ギャラリー矢田で開かれました。

高校生の展示コーナーもあり、中高生がスタッフから熱心に話を聞いている姿を見かけました。

瀬戸からは、軍需工場跡を保存する会の資料が展示され、事務局の寺脇さんが来場者の質問に詳しく解説されていました。

30を超える団体の展示は見ごたえがありました。また、高校生の平和活動の取り組みに明るい未来を感じました。

五、軍用機の翼



六、愛知県の軍用機製造施設

